



日本美容皮膚科学会

第34回日本美容皮膚科学会総会・学術大会

スポンサーードセミナー 6

結果がでる美容皮膚治療の ハーモナイゼーション

日時 2016年 **8**月 **7**日(日) **11:00-12:00**

会場 第**2**会場 京王プラザホテル 本館5F コンコードB
〒160-8330 東京都新宿区西新宿2-2-1

座長 須賀 康 先生
順天堂大学浦安病院 皮膚科学 教授

演者 野本 真由美 先生
野本真由美スキンケアクリニック 院長

日本人に適した美容医療のハーモナイゼーションセラピー

演者 吉木 伸子 先生
よしき皮膚科クリニック銀座 院長

漢方を美容皮膚科治療にどう役立てるか

クラシエ薬品株式会社 CUTERA®

共催：第34回日本美容皮膚科学会総会・学術大会／キュテラ株式会社／クラシエ薬品株式会社

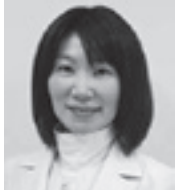


日本美容皮膚科学会

第34回日本美容皮膚科学会総会・学術大会

スポンサードセミナー6

結果がでる美容皮膚治療のハーモナイゼーション



日本人に適した美容医療のハーモナイゼーションセラピー

野本 真由美 先生

野本真由美スキンケアクリニック 院長

美容皮膚治療には治療機器や注入剤、外用剤などを用いた様々な方法がある。どのアプローチにも効果があるが、1つの方法だけを用いると効果に限界があると感じるのも事実である。

当院では美容皮膚科学、漢方医学、抗加齢医学を取り入れた美容皮膚治療を行っている。最終目標として、積極的に予防医療を行いたいと考えている。例えば色素斑になる前に出来ることは何かを考えた時、スキンケアやメイクアップの工夫は欠かせない。また治療する患者の皮膚は、自律神経、内分泌、免疫といった全身の条件によって常に変化しているため、生体側を整えた上で施術を行うと、治療効果が発揮しやすく、副作用も回避しやすくなる。皮膚がきれいになると同時に、冷え症や生理痛、イライラなどが改善すれば通院の満足度が高まり、さらに患者の視点が予防医療に向くことを願っている。

今回の講演では、レーザー・光治療、スキンケア・メイクの指導に漢方医学を効果的に組み合わせた美容皮膚治療を、日本人に適したハーモナイゼーションセラピーとして紹介する。



漢方を美容皮膚科治療にどう役立てるか

吉木 伸子 先生

よしき皮膚科クリニック銀座 院長

当院では、漢方治療と美容治療の二つの柱をもって診療にあたっている。古の東洋医学と最先端科学に基づく美容治療。一見相容れないこの二つの柱は、どう融合するのか。

老人性色素斑やシワなどの、エイジングによる明らかな形態的变化を漢方で解消することは基本的にできない。ただ、気血水の乱れが肌に悪影響している場合、そこを改善することで美肌につなげていくことは、さまざまな角度から美容治療の助けになる。一番簡単なのはざ瘡や脂漏性皮膚、乾皮症の改善であり、さほど多くの処方を運用できなくてもこれらには対処できる。さらに気逆によるのぼせと赤ら顔、お血による肌の粗造化や黒ずみなども、漢方治療が奏功する。また激しい皮膚の搔破やニキビをつぶすなどの患者の行動の背景に、気の異常が隠れていることが多く、そこにも漢方はおだやかにアプローチする。無限の可能性を秘めた漢方治療を習得することは、治療の幅を大きく広げるものと考えている。

肌を美しく保つための漢方治療について、漢方の基礎から、臨床写真をまじえて紹介する。

クラシエ薬品株式会社 CUTERA®

共催：第34回日本美容皮膚科学会総会・学術大会／キュテラ株式会社／クラシエ薬品株式会社